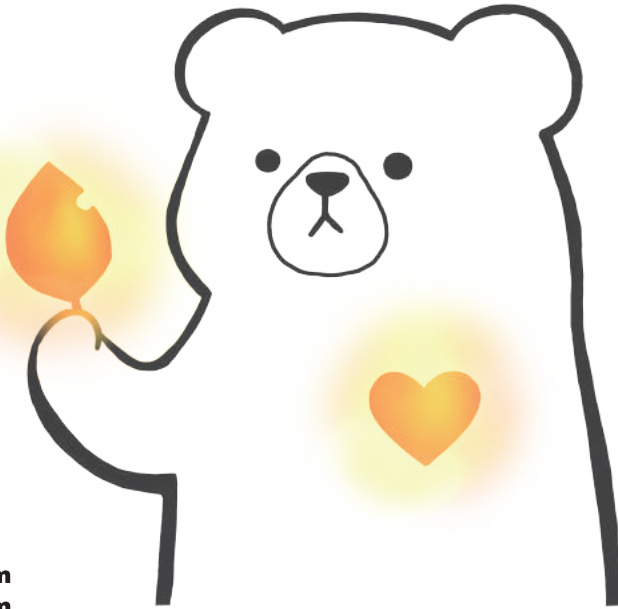


エクスカーショントシンポジウム

記録と記憶

地域を活かすコミュニティ・アーカイブ



日時・会場

2023
10.14 SAT
13:30 - 17:00

厚真町軽舞遺跡調査整理事務所
(Zoomによるオンライン配信を併用)

災害に見舞われた後、(外から)あふいほ(上から)の復興支援が大きな力をもつことは確かである。しかし同時に、たとえば地域の資料の地道な収集・保存・活用からひらびらが出ていくような、(内から)~(下から)の地域文化の掘り起こしも重要になってくることは間違いない。このような分野において、コレクションを預かるミュージアムやその関係者には何ができるのか。2018年9月の北海道胆振東部地震で被災した厚真町の事例に学び、キーパーソンの方々にお話をうかがいながら、議論を深めたい。

パネリスト

定池 祐季 (東北学院大学 准教授)
乾 哲也 (厚真町教育委員会 学芸員)
奈良 智法 (厚真町教育委員会 学芸員)
西村 勇太 (一般社団法人 Welbe Design)

司会・コーディネーター

今村 信隆 (北海道大学文学研究院 准教授)

申し込み

事前のお申し込みが必要です。
締切 2023年10月12日(木) 13時
方法 下のQRコードから
申込フォームにお進みください。
参加料 無料

※当日、本プログラムが用意した貸し切りバスにて、北海道大学文学部前から会場となる厚真町軽舞遺跡調査事務所まで移動することも可能です。定員に限りがありますので、ご希望の方は申し込み時にお伝えください。(人数が多い場合は先着順とさせていただきます。)

地域を癒し、災害を超えていくための、
アーカイブとミュージアム。

お問い合わせ

〒060-0810
札幌市北区北10条西7丁目北海道大学文学研究院内
「プラス・ミュージアム・プログラム」事務局
plusm@let.hokudai.ac.jp

